



事業承継10分で判定

Hスターシップ D格付けシステム開発

スターシップホールディングス(HD、金沢市)は、企業の合併・買収(M&A)による事業承継を検討する中小企業向けに、10分程度の短時間で適否や売却価格の目安を判定する格付けシステムを開発した。

M&A格付けシステムは、スターシップHDが自社で開発した。経営者との面談に加え、売上高や営業利益、金融債務、株主構成、従業員、市場シェアなどの評価項目を入力すると、A～Dの段階で事業譲渡の適正が示される。パソコンやタブレット端末などを使えば、出先でも判定結果を見ることができると、

同HDは約10年間に成約させた160社のM&Aデータを活用しており、実際の売却価格と誤差が生じにくいという。

近年、親族に後継者がいない中小企業が、親族以外への事業譲渡を検討する際、譲渡後も事業を継続できるだけの強みがあるかどうか判断に迷い、廃業を

選んでしまうケースが増えている。格付けを利用して、自社の長所とともに改善点を

把握できることから、同HDは中小企業の事業承継支援にシステムを活用する方針だ。